

(公印省略)

27 農林試第 3064 号
平成 27 年 11 月 20 日

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成 27 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号について

このことについて、本県でモモ果実赤点病の発生を確認しましたので、病虫害発生予察特殊報第 1 号を発表し、送付します。

特殊報第 1 号

- 1 病虫害名 モモ果実赤点病
- 2 学名 *Ellisemia* sp.
- 3 対象作物 モモ
- 4 発生の経過と概要

平成 27 年 8 月上旬、県内のモモ園において、果実表面や枝に赤色の小斑点が現れる症状(写真 1、写真 2)が発生した。

農林業総合試験場で枝の湿室処理により形成した分生子および分生子柄の形態(写真 3、写真 4)から、この症状は *Ellisemia* sp. によるモモ果実赤点病であることを確認した。

- 5 症状及び生態

果実に赤色の小斑点を生じ、外観を損ねる。ウメシロカイガラムシの被害と類似しているが、吸汁痕の有無で区別できる。

菌は、枝表面にできた褐変・枯死病斑上で越冬する。6 月から 9 月頃に病斑上に形成された分生子が風雨で飛散し感染する。発症は着色開始～収穫間際頃から見られ、若木や成木よりも老木での発生が多い。

- 6 防除対策

- 1) 袋かけ時期が遅いほど発生は多くなるので、袋かけの時期に留意する。
- 2) 多湿条件下で発生が多くなるので、徒長枝を剪定し過繁茂を避ける。また、剪定枝は

放置せず園外に持ち出し適切に処分する。

3) 6月下旬～7月中旬に有効な薬剤を散布することにより果実への被害を軽減する（登録農薬は、独立行政法人農林水産消費安全技術センター（FAMIC）の農薬登録情報提供システム <http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m001.html> 等を参照）。



写真1 発病果実



写真2 枝の症状



写真3 分生子座と分生子



写真4 分生子